



to me



登米高PTAだより 令和3年度スタート号 2021. 6.1

これからのPTA活動を共に

PTA会長 小野寺 由紀子



皆様には日頃からPTA活動にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本年度PTA会長を務めさせて頂くことになりました、「登米・津山支部」の小野寺です。

新型コロナウイルスの影響で例年と異なる日常を送る日々の中、PTA活動も変化を求められているのではないかと感じています。学校行事の縮小、部活動の自粛と青春

コロナ禍のPTA活動

校長 佐々木 真由美



日頃より、保護者の皆様には本校の教育活動に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。特に昨

年より新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、PTA事業が中止や縮小となっております。そのような困難な状況の中にあつて秋葉会長様をはじめPTAの会員の皆様のご尽力で令和2年度のPTA事業を推進いただきましたことにこの場をお借りし深く御礼申し上げます。昨年度

の思い出が、ひとつ又ひとつとなくなり、一番辛い思いをしているのは子供たちです。自分の遠い昔の記憶を思い返していても、高校生活3年間は沢山の思い出でいっぱいです。私たちにできる事は何か？私たちがしなければいけない事は何か？この一年はそれを模索して一年になるでしょう。

元々、高校生になると保護者の出番は少なくなります。子供が成長した証なのですが、少しでも子供たちとの関わりを作り、家庭と学校との距離をより近いものにし、共に子供たちの成長を見守っていく事が私たち保護者に求められる事なのでしょう。今、私たちが感じている「非日常」は、

の「登校時一声運動・マナーアップ運動」では感染対策を講じながら「挨拶」をとおして生徒と保護者の皆様と本校生徒会との挨拶運動が加わり、登校する生徒の背中を押してくれる多くの声が昇降口に飛び交いました。生徒は周囲からの温かい支えを実感できたはず。また、本校のPTA広報誌「to me」第55号が令和2年度東北地区高等学校PTA連合会PTA広報誌コンクールで「優良賞」を受賞したことは学校としても大きな喜びです。広報委員会の方々には様々な工夫をしながら打合せを重ね、充実した内容の紙面に仕上げてくださいました。できあがった広報誌はご家庭での楽しい話題になったと思います。昨年から誰が感じるコロナ禍の「生き難さ」の中にあつて、

いずれ子供たちにとっての「日常」に変わっていくのかもしれない。古き良き登米高校の歴史と伝統を次の世代へつないでいく為に、変わる事を恐れずに、新しいこれからの登米高校を創っていきましょう。その為にも保護者の皆様のご理解とご協力が必要となります。

- 「示せー登高魂」
 - 笑顔と挨拶、感謝と情熱をもって『学ぶ登高生』
 - 夢に向かって『諦めない登高生』
 - 自分とみんなの幸せを考え、『自分を磨く登高生』
- 学校のモットーを実現する為、この一年よろしくお願い申し上げます。

生徒たちは簡単には前を向けない多くの辛酸を嘗めてきました。しかし「時」は進み、人生という舞台は続きます。困難な時こそ「一人ではない」「支えてくれる人たちがいる。」その思いを支えてくれた「挨拶運動」と「広報誌」でした。PTA活動とおして「生徒たちが元気になる」それはPTA活動の本来の意義で、本校はそれが実現できていると自負しております。私たち教職員は保護者の皆様と手を携えて、101年目に歩み出した登米高生の応援団として生徒にエールを送り続けます。会員の皆様におかれましても本校の教育方針への御理解と教育活動への御支援と御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。